

「鳥」の状況に影 スズメ国内初感染死

中時電子報 www.chinatimes.com 2016-01-10 04:10 湯雅雯 / 台北報導

初例！台中市西屯区で先日市民が拾得した 2羽の病死したスズメは、農委会家衛所（宮本注：行政院農業委員會家畜衛生試驗所のこと）の検査の結果、昨日、新型の H5 亜型高病原性鳥インフルエンザと確診されたが、これは国内で初のスズメからの鳥インフルエンザウイルス検出となった。鳥類専門家は、都市で常見されるスズメですら感染したことに、今年の鳥インフルエンザの趨勢は凄い勢いになり得るため、防疫単位が慢心するようなことがあってはならないと心配する。

「鳥」の状況に影！冬入り後、中南部の鳥飼育場で陸続と鳥インフルエンザが発生、スズメまでが逃れられない状況に；防検局情報によれば、昨年 1 月から 12 月までに野鳥の鳥インフルエンザ合計 15 件が、苗栗の白頭翁（ムクドリのことと思われます）から見つかった H5N3 や、黒面琵鷺（クロツラヘラサギ）から見つかった新型 H5 ウィルス、台北の白腹鶇（シロハラツグミ）に見つかった新型 H5N2 鳥インフルエンザが含まれているが、これは、ムクドリやシロハラツグミがインフルエンザに感染後、再び本土の留鳥に伝播したものである。

台北市野鳥学会の何一先総幹事は、「昨年、台湾で初めて鳥インフルエンザがアウトブレイクし、次いでムクドリやヨタカ、シロハラツグミなどの陸鳥に鳥インフルエンザ H5N2 や H5N3 新型ウィルスが見つかり、今ではスズメにまで感染が広がっている。代表的なウィルスの感染力が拡散し、水鳥から陸鳥に限らず、渡り鳥から留鳥にも感染するようになってきている」と指摘する。

何一先総幹事は、昨年シロハラツグミが感染したときこそが既にアラート状態にあったのだ、野鳥の鳥インフルエンザのモニタリングは、最初はガンやアヒル科で始まったが、これは、水鳥が天然のウィルスキャリアであるため、早期の観測では水鳥から見つかったのは低病原性ウィルスであったが、最近では、高病原性のものに変わりつつあり、特に既に水鳥から渡り鳥や陸鳥にも拡大しており、陸地の留鳥であるムクドリやスズメなどに感染しており、このおことから今年の鳥インフルエンザは「大変危険な状況にある！」と言えるとしている。

防検局の官員は、台中市動物保護処は区域の消毒を強化しており、周辺 3 キロ以内の鳥飼育場のパトロール及び業者に対して安全な活動をするようにと指導している。

（中国時報）

<http://www.chinatimes.com/newspapers/20160110000320-260114>

..... 以下は中国語原文

「禽」況不妙 國內首見麻雀染禽死

中時電子報 www.chinatimes.com 2016-01-10 04:10 湯雅雯 / 台北報導

首例！台中市西屯區日前有民眾拾獲 2 隻死麻雀，送農委會家衛所檢驗，昨確診為新型 H5 亞型高病原性禽流感，為國內首度在麻雀身上驗出禽流感病毒。鳥類專家擔心，連都市常見的麻雀都中鏢，代表今年禽流感來勢洶洶，防疫單位千萬不可大意。

「禽」況不妙！入冬後，中南部養禽場陸續傳出禽流感疫情，連麻雀也難逃；根據防檢局統計，去年 1 月至 12 月總計驗出 15 起野鳥染禽流感案例，包括苗栗白頭翁驗出 H5N3、黒面琵鷺驗出新型 H5 病毒，連台北的白腹鶇，也驗出新型 H5N2 禽流感，這也是繼白頭翁、白腹鶇染禽流感後，再度傳出本土留鳥染疫。

台北市野鳥學會總幹事何一先指出，去年初台灣禽流感大爆發，就已先後在白頭翁、夜鷺及白腹鶇等陸鳥身上驗出禽流感 H5N2、H5N3 新型病毒，現在連麻雀都中鏢，代表病毒傳染力擴散，不僅從水鳥傳到陸鳥，更從候鳥傳到留鳥。

何一先認為，去年白腹鶇中鏢就已經是警訊，野鳥禽流感監測，最早從雁鴨科開始，因為水鳥多是天然保毒者，早期監測水鳥幾乎是低病原病毒，近年不僅轉為高病原，甚至已經從水鳥跳到候鳥、陸鳥身上，連陸地留鳥白頭翁、麻雀都染疫，這代表今年禽流感，「狀況非常危險！」

防檢局官員說，中市動保處將加強拾獲區域消毒，並訪視周邊 3 公里禽場及輔導業者落實安全工作。

（中國時報）